



平成29年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年8月10日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

上場取引所 東

コード番号 2160 URL <http://www.gnipharma.com>

代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役代表執行役CFO

(氏名) トーマス・イーストリング TEL 03-6214-3600

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	711	30.8	△144	-	△177	-	△209	-	△221	-	△188	-
28年12月期第2四半期	544	11.6	△228	-	△570	-	△645	-	△623	-	△707	-

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	△1.90	-
28年12月期第2四半期	△5.48	-

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	12,317	10,114	9,280	75.3	71.21
28年12月期	5,818	4,533	3,261	56.0	28.60

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	-	-	-	0.00	0.00
29年12月期	-	-	-	-	-
29年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,907	122.5	231	-	266	-	147	-	△63	-	1.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期2Q	130,331,831株	28年12月期	114,024,831株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	3,632株	28年12月期	3,632株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期2Q	116,397,934株	28年12月期2Q	113,684,884株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料7ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、平成29年8月15日に、アナリスト向けの四半期説明会を開催する予定です。その説明内容については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 研究開発活動	5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	8
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	9
要約四半期連結損益計算書	9
要約四半期連結包括利益計算書	10
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績・財政状態に関する分析

会社概要

当社グループは、日本、中国及び米国を中心に、アジア及び世界で線維症関連治療薬の研究開発、製造及び販売事業を展開するグローバル製薬企業です。当社の主な収益源は、中国で上市した特発性肺線維症（IPF）治療薬であるアイスーリュイ〔中国語：艾思瑞[®]、英語：Etuary[®]（一般名：ピルフェニドン）〕の売上収益です。当社グループが保有する複数の開発パイプラインは、肺、腎臓、肝臓の線維症の革新的な治療薬を中核とし、肝硬変・慢性肝不全急性化（ACLF）及び急性前骨髄球性白血病（APL）を含む治療薬に集中しています。当社は、中国において臨床試験を実施しておりますが、米国市場での追加的な臨床試験プログラムも開始する予定です。当第2四半期連結累計期間の経営成績、財務状態及び研究開発活動は以下のとおりです。

当第2四半期連結累計期間において、当社は、100%子会社であるGNI USA, Inc.（GNI USA）を通じて、非公開会社であり、生体材料を取り扱うBerkeley Advanced Biomaterials LLC（BAB LLC）の株式の過半数を取得することを発表しました。BAB LLCを買収することにより、黒字化の達成、多角化を通じたビジネスリスクの低減及び新しいマーケットと事業セグメントにおける売上拡大を期待しております。当社は、当第3四半期連結累計期間からBAB LLCを連結子会社化する予定で、それに伴い当第2四半期連結累計期間において2017年12月期通期業績予想を修正しました。また、買収資金の調達のため、当第2四半期連結累計期間において、モルガン・スタンレーMUFJ証券株式会社を割当先とする当社新株式20,000,000株を対象として行使請求が可能な行使価額修正条項付新株予約権を発行しました。この結果、当第2四半期会計期間末現在では、15,918,000株の新株式を発行し、約6,380百万円の調達を行っております。

また、当第2四半期連結累計期間において、EPS益新株式会社及びEPS Americas, Corp.（EPSグループ）と持分譲渡取引及び株式取得取引を行い、譲渡取引によって当社の持分法適用関連会社であったIriSys, LLC（IriSys）の約20%の持分をEPSグループに譲渡し、取得取引によってEPSグループとの共同出資事業であるGNI-EPS（HONG KONG）HOLDINGS LIMITED（GEP HK）の発行済株式の約10%を追加的に取得しました。この組織再編により、GEP HKが保有する重要な創薬パイプラインの開発に対するより効率的な資源配分が可能となると同時に、EPSグループとの連携を通じてIriSysの持分保有を継続することができます。

(1) 経営成績に関する分析

① 当第2四半期連結累計期間の経営成績

連結経営成績概要

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	差額
売上収益	544,242	711,897	167,654
売上総利益	458,927	599,643	140,715
営業利益（△損失）	△228,953	△144,349	84,604
四半期利益（△損失）	△645,819	△209,395	436,424

売上収益及び売上総利益

当第2四半期連結累計期間において、売上収益は前年同期比約30.8%増加の711,897千円となりました。当第2四半期連結累計期間の売上総利益は、前年同期比約30.7%増加の599,643千円となりました。

当第2四半期連結会計期間におけるアイスーリュイの売上収益は、前年同期比116百万円、または約60.3%増加の310百万円となりました。当第1四半期連結会計期間と比べると、当第2四半期連結会計期間におけるアイスーリュイの売上収益は、約8.7%増加し、過去2番目に高い四半期売上を達成しました。2017年2月23日に開示したピルフェニドン（アイスーリュイの一般名称）の新保険目録掲載の発表が、当第2四半期連結会計期間における売上増加に与えた影響は大きくはありませんが、2017年7月31日を期限とする各省・地域による地域別調整結果の公表は、中国医療保険制度の下で、アイスーリュイが患者の方々に行き渡るために重要なものとなると思われます。

アイスーリュイ 売上収益推移 (2016年7月～2017年6月)

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間
売上収益	229	429	285	310

アイスーリュイが新保険目録に掲載されたことによって、患者の方々がアイスーリュイを購入しやすくなることから、当社は当患者助成プログラムを段階的に縮小する予定です。当第2四半期連結累計期間には、中国ベスーン基金を通してアイスーリュイ生産量の約7.8%がIPF患者の方々に配布されました。

営業利益（損失）

当第2四半期連結累計期間の営業損失は、前第2四半期連結累計期間の228,953千円の損失と比べ、84,604千円改善し、144,349千円の損失となりました。営業利益の継続的な改善は、主として、販売費及び一般管理費の増加を相殺する売上総利益の増加、研究開発費の減少及びその他の収益の増加によるものです。

四半期利益（損失）

当第2四半期連結累計期間の四半期損失は、前第2四半期連結累計期間の645,819千円の損失と比べ、436,424千円改善し、209,395千円の損失となりました。この改善は、主として、営業損失の継続的な減少と、金融費用の減少によるものです。

販売費及び一般管理費の明細、研究開発費

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	差額
販売費及び一般管理費	△533,328	△676,809	△143,481
人件費	△167,427	△221,041	△53,614
その他の支払手数料	△211,551	△71,414	140,136
研究開発費	△140,330	△104,456	35,873

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前第2四半期連結累計期間に比べ143,481千円増加し、676,809千円となりました。これは、主に、アイスーリュイの売上増加に伴って、北京コンチネント薬業有限公司（北京コンチネント）における販売費及び一般管理費が比例的に増加したためです。研究開発費が前年同期に比べ減少したのは、主として予定していた各臨床試験の開始が遅れたことによるものです。

金融収益、金融費用及び持分法による投資利益（損失）

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	差額
金融収益	10,380	17,573	7,192
金融費用	△311,201	△16,489	294,711
持分法による投資利益（△損失）	△40,452	△33,905	6,547

金融収益

当第2四半期連結累計期間の金融収益は、前第2四半期連結累計期間の10,380千円と比べて、7,192千円増加し、17,573千円となりました。これは、主として、当社及び連結子会社の外貨建ての資産及び負債の評価において為替差益が発生したためです。

金融費用

当第2四半期連結累計期間の金融費用は、前第2四半期連結累計期間の311,201千円と比べて、294,711千円減少し、16,489千円となりました。これは、主として為替差損が発生しなかったためです。

持分法による投資利益（損失）

当第2四半期連結累計期間の持分法による投資損失は、前第2四半期連結累計期間の40,452千円の損失と比べて、6,547千円改善し、33,905千円となりました。これは、IriSysへの投資からの損失が減少したことに関するものです。

② 地域別セグメント情報

日本 - 当第2四半期連結累計期間の日本における売上収益は、前第2四半期連結累計期間と比べて10,068千円増加し、17,412千円となりました。セグメント損失は、前第2四半期連結累計期間と比べて30,644千円増加し、187,144千円となりました。

中国 - 当第2四半期連結累計期間の中国における売上収益は、前第2四半期連結累計期間と比べて226,722千円増加し、771,455千円となりました。セグメント利益は、前第2四半期連結累計期間の54,845千円の損失と比べ、168千円の利益となりました。

米国 - 当第2四半期連結累計期間の米国におけるセグメント利益は、前第2四半期連結累計期間の18,485千円の損失に対し、20,822千円となりました。

(2) 財政状態に関する分析

連結財政状態

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	差額
資産合計	5,818,798	12,317,050	6,498,252
負債合計	1,285,729	2,202,646	916,916
資本合計	4,533,069	10,114,404	5,581,335

資産合計

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて6,498,252千円増加し、12,317,050千円となりました。これは、主として、新株予約権の行使による株式の発行により、現金及び現金同等物が増加したことによるものです。

負債合計

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて916,916千円増加し、2,202,646千円となりました。これは、主として、営業債務及びその他の債務並びに借入金の増加によるものです。

資本合計

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて5,581,335千円増加し、10,114,404千円となりました。これは、主として、新株予約権の行使による株式の発行により、資本金及び資本剰余金が増加したことによるものです。

連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△455,561	△221,066	234,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	147,818	△341,445	△489,264
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,060	6,602,648	6,613,708

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの支出は、前第2四半期連結累計期間の455,561千円と比べて234,495千円減少し、221,066千円となりました。主な支出は、税引前四半期損失177,170千円並びに営業債権及びその他の債権の増加による資金の減少568,839千円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの支出は、前第2四半期連結累計期間の147,818千円の収入と比べて489,264千円増加し、341,445千円となりました。主な支出は、定期預金の預入による支出の208,268千円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの収入は、前第2四半期連結累計期間の11,060千円の支出と比べて6,613,708千円増加し、6,602,648千円となりました。主な収入は、新株予約権の行使による株式の発行による収入6,397,291千円であります。

(3) 研究開発活動

■アイスーリュイ

放射線性肺炎 (RP)

当社グループは、アイスーリュイの2番目の適応症として、RP治療薬の第3相臨床試験前パイロット試験を実施しております。これは、反復投与、多施設でのオープン試験を行うもので、2017年6月末現在、10の施設で10人の被験者登録が行われています。

糖尿病腎症 (DN)

DNは、I型糖尿病又はII型糖尿病により引き起こされる慢性腎臓病です。統計によれば、中国では、糖尿病の有病者が9,240万人に達すると報告されていて、I型又はII型糖尿病患者の20~30%が腎疾患を引き起こすとされています。当社グループは、2016年8月、アイスーリュイの3番目の適応症であるDN治療薬の治験許可 (IND) 申請に対する承認を、中国国家食品薬品監督管理総局 (CFDA) より取得しました。同承認により、当社は、DNに関し第2相臨床試験を直ちに開始することが認められています。第2相臨床試験の開始は、2017年の後半を見込んでおります。

結合組織疾患を伴う間質性肺疾患 (CTD-ILD)

2016年9月、当社グループは、アイスーリュイの4番目の適応症であるCTD-ILD治療薬としてのIND申請に対して、CFDAより、第3相臨床試験から直ちに開始できる承認を取得しました。CTD-ILDは、結合組織疾患 (CTD) を持つ患者の肺が、炎症及び線維症、又はいずれか一方の症状を引き起こす状態のことを指します。CTDは、全ての体細胞の支持構造体である結合組織の障害で、その典型的な症状は、肺などの体内の複数の臓器や組織の炎症と傷跡です。間質性肺疾患 (ILD) は、CTDに伴う最も重篤な肺の合併症で、重篤な症状や死に至る疾病です。アイスーリュイに対するIND承認は、CTD-ILDの2つの適応症に関するもので、これらは全身性強皮症 (強皮症) 及び皮膚筋炎 (DM) です。中国におけるCTD-ILDの患者数は明瞭ではありませんが、ILD患者のある集団内で、CTD-ILD又は未分化組織結合病間質性肺疾患 (UCTD-ILD) の患者数はIPF患者数の2倍近くとの報告があります。即ち、CTD-ILD又はUCTD-ILDの有病率は、IPFより高いことを示しております。当社では、CTD-ILDに関する第3相臨床試験を2017年後半に開始すべく、準備を行っております。

■F351（肝線維症等治療薬）

F351（一般名：ヒドロニドン）は、当社グループのパイプラインの中でも重要な創薬候補化合物で、臨床開発活動を世界の主要医薬品市場で展開する当社戦略に必要な不可欠なものです。F351は、アイスーリュイの誘導体である新規創薬候補化合物です。内臓の線維化に重要な役割を果たす肝星細胞の増殖及びTGF- β 伝達経路の両方の阻害剤で、当社の連結子会社である上海ジェノミクス有限公司（上海ジェノミクス）における多様な動物試験において、肝線維症及び腎線維症に対して顕著な有効性を示しました。当社グループは中国、日本、豪州、カナダ、米国、欧州各国を含む主要な国でのF351の特許権を保有しております。

中国 - 当社グループは、中国において、F351の肝線維症治療薬としての第2相臨床試験を行っておりますが、これは、慢性B型肝炎ウイルス感染による肝線維症の治療におけるF351の安全性及び有効性を検証するため、中国全土のクラスAAAの13の病院が参加し、最大240人の被験者に対して、無作為、二重盲検比較試験、反復投与、多施設での試験を行うものです。2017年6月末日現在、複数の施設で、131人の被験者登録が行われています。

米国 - 2016年3月、当社グループは、肝線維症治療薬としてのF351の米国におけるIND申請を米国食品医薬品局（FDA）に対して行いました。その後、2016年5月3日にはFDAから通知を受領し、追加的に、米国GLP基準に準拠した毒性試験結果の提出を要請されました。2016年7月には、当社は、米国GLP基準に準拠した試験を第三者機関である医薬品開発業務受託機関（CRO）に委託しました。当第2四半期連結累計期間において、当CROが米国GLPに準拠した毒性試験を成功裏に終了したため、当社では、F351の米国におけるIND申請の補足資料として、毒性試験結果とその他の追加的に要請された非臨床試験関連の資料をFDAに提出すべく準備を行っております。

■タミバロテン（急性前骨髄球性白血病（APL）治療薬）

タミバロテンは、APL治療薬です。APLは、急性骨髄白血病の一種で、前骨髄球が「がん化」する白血病です。タミバロテンは、白血病が有するPML/RAR α という異常分子に特異的に働く分子標的薬で、抗がん剤治療とは異なり、白血病細胞を破壊するのではなく、より成熟した細胞に分化させることで治療効果を発揮します。また、タミバロテンは、オールトランス型レチノイン酸（ATRA）耐性を獲得し、トレチノインに反応しなくなったAPL症例に対しても効果があることが期待されております。

東光薬品工業株式会社と当社子会社のGNI-EPS（HONG KONG）HOLDINGS LIMITEDは、2015年10月に、アムノレイク錠2mg（一般名：タミバロテン）を、輸入薬として、CFDAに登録申請を行いました。輸入薬登録は、CFDAによる評価・検討の進捗にもよりますが、申請から1～2年ほどで承認される見込みです。当社は、CFDAの承認を取得次第、アムノレイク®の販売・流通を行うことができるように準備を行っております。

■F573（急性肝不全・慢性肝不全急性化（ACLF）治療薬）

ACLF治療薬F573は、アイスーリュイ及びF351に続く3つ目の新薬候補化合物で、当社グループは、2011年7月にCFDAにIND申請書を提出しております。F573は、ジペプチド化合物で、細胞死や炎症反応をもたらす酵素の一種であるカスパーゼを阻害する可能性を持つものです。大規模な肝細胞死は、多くの場合、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、アルコール性肝硬変に起因する重症肝炎と関連して発生しますが、中国では、B型肝炎ウイルスに起因する肝疾患の患者が、世界的に見ても多く存在しています。この治療法としては、現存する抗ウイルス剤による治療以外の選択肢は限られており、最終手段である肝臓移植は、大変高額な治療であります。

F573は、米国企業EpiCept Corporation（現Immune Pharmaceuticals, Inc.）からライセンスの供与を受けたものであり、当社グループは、アジアにおいては、中国、日本、豪州及びニュージーランド他の権利を保有し、更には、その他の地域の権利も取得できる優先権も保有しております。

■その他

以上のパイプラインの他、2015年12月には、当社の連結子会社である北京コンチネントが、酪酸ヒドロコルチゾンの温度により制御されるフォーム製剤（外用薬）のIND申請書を北京市食品薬品监督管理局（北京FDA）に提出し、受理されております。当フォーム製剤は、湿疹、乾癬、接触性皮膚炎等の外用薬として、北京コンチネントとGENEPHARM Biotech Corp.（台湾企業）により共同開発されたものです。当フォーム製剤が承認されれば、これは中国で初めての温度により制御されるフォーム製剤となります。北京コンチネントは、当第2四半期連結会計期間において北京FDAから通知を受領しました。同通知において、当初提出したフォーム製剤に関するIND申請の情報が一部不足しており、当申請を補完する追加的なデータ提出を要請されました。同通知において要請された追加的な資料は、不純物分析方法や長期安定性検査等で、北京コンチネントはこれらのデータを準備し、出来るだけ早期にIND申請の再提出を行う予定です。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年12月期の連結業績予想につきましては、2017年4月18日付で当社が公表した「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」及び2017年4月19日付で当社が公表した「(訂正)「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」の一部訂正について」に記載のとおりです。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2017年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	616,747	633,245
のれん	138,549	135,738
その他の無形資産	226,418	221,440
持分法で会計処理されている投資	726,992	-
繰延税金資産	9,860	23,502
その他の金融資産	69,087	385,303
その他の非流動資産	347,631	409,082
非流動資産 合計	2,135,287	1,808,313
流動資産		
棚卸資産	260,621	278,263
営業債権及びその他の債権	269,775	840,437
その他の金融資産	501,373	701,674
その他の流動資産	52,608	67,339
現金及び現金同等物	2,599,131	8,621,022
流動資産 合計	3,683,510	10,508,736
資産 合計	5,818,798	12,317,050
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	488,273	279,233
その他の非流動負債	34,895	36,273
非流動負債 合計	523,168	315,507
流動負債		
営業債務及びその他の債務	166,970	678,051
借入金	190,446	733,082
未払法人所得税	66,933	79,353
その他の流動負債	338,209	396,650
流動負債 合計	762,560	1,887,138
負債 合計	1,285,729	2,202,646
資本		
資本金	5,840,152	9,060,868
資本剰余金	5,704,300	8,672,377
自己株式	△253	△253
利益剰余金	△8,350,628	△8,572,294
その他の資本の構成要素	67,478	119,894
親会社の所有者に帰属する部分合計	3,261,049	9,280,590
非支配持分	1,272,020	833,813
資本 合計	4,533,069	10,114,404
資本及び負債の合計	5,818,798	12,317,050

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)
売上収益	544,242	711,897
売上原価	△85,315	△112,254
売上総利益	458,927	599,643
販売費及び一般管理費	△533,328	△676,809
研究開発費	△140,330	△104,456
その他の収益	7,755	50,508
その他の費用	△21,978	△13,234
営業利益 (△損失)	△228,953	△144,349
金融収益	10,380	17,573
金融費用	△311,201	△16,489
持分法による投資利益 (△損失)	△40,452	△33,905
税引前四半期利益 (△損失)	△570,227	△177,170
法人所得税費用	△75,592	△32,225
四半期利益 (△損失)	△645,819	△209,395
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	△623,087	△221,666
非支配持分	△22,732	12,270
1株当たり四半期利益 (△損失) (円)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失)	△5.48	△1.90
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失)	—	—

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)
四半期利益(△損失)	△645,819	△209,395
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△61,651	20,652
その他の包括利益合計	△61,651	20,652
四半期包括利益合計	△707,471	△188,743
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△450,054	△154,881
非支配持分	△257,417	△33,861

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2016年1月1日残高	5,828,953	5,788,953	△155	△7,837,526	85,668	△30,519	55,149
四半期利益(△損失)	-	-	-	△623,087	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	173,033	173,033
四半期包括利益合計	-	-	-	△623,087	-	173,033	173,033
支配継続子会社に対する持分の変動	-	△64,200	-	-	-	389	389
新株の発行	1,015	1,015	-	-	△972	-	△972
株式報酬取引	-	-	-	-	8,760	-	8,760
所有者との取引額合計	1,015	△63,185	-	-	7,787	389	8,177
2016年6月30日残高	5,829,968	5,725,768	△155	△8,460,614	93,456	142,903	236,359

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2016年1月1日残高	3,835,374	1,292,481	5,127,855
四半期利益(△損失)	△623,087	△22,732	△645,819
その他の包括利益	173,033	△234,684	△61,651
四半期包括利益合計	△450,054	△257,417	△707,471
支配継続子会社に対する持分の変動	△63,810	△8,164	△71,975
新株の発行	1,058	-	1,058
株式報酬取引	8,760	-	8,760
所有者との取引額合計	△53,992	△8,164	△62,157
2016年6月30日残高	3,331,327	1,026,898	4,358,226

株式会社ジーエヌアイグループ(2160) 平成29年12月期第2四半期決算短信

当第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2017年1月1日残高	5,840,152	5,704,300	△253	△8,350,628	86,895	△19,416	67,478
四半期利益(△損失)	-	-	-	△221,666	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	66,785	66,785
四半期包括利益合計	-	-	-	△221,666	-	66,785	66,785
支配継続子会社に対 する持分の変動	-	△245,322	-	-	-	2,429	2,429
新株の発行	3,220,715	3,220,715	-	-	△16,799	-	△16,799
株式発行費用	-	△7,316	-	-	-	-	-
所有者との取引額合計	3,220,715	2,968,076	-	-	△16,799	2,429	△14,369
2017年6月30日残高	9,060,868	8,672,377	△253	△8,572,294	70,096	49,797	119,894

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2017年1月1日残高	3,261,049	1,272,020	4,533,069
四半期利益(△損失)	△221,666	12,270	△209,395
その他の包括利益	66,785	△46,132	20,652
四半期包括利益合計	△154,881	△33,861	△188,743
支配継続子会社に対 する持分の変動	△242,892	△404,344	△647,237
新株の発行	6,424,632	-	6,424,632
株式発行費用	△7,316	-	△7,316
所有者との取引額合計	6,174,423	△404,344	5,770,078
2017年6月30日残高	9,280,590	833,813	10,114,404

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益(△損失)	△570,227	△177,170
減価償却費	25,381	24,056
株式報酬費用	8,760	-
営業債権及びその他の債権の増減額	△122,957	△568,839
営業債務及びその他の債務の増減額	8,774	513,237
棚卸資産の増減	△48,345	△21,748
金融収益及び金融費用	183,692	45,517
持分法による投資損失	40,452	33,905
その他	30,826	21,739
小計	△443,641	△129,303
利息の受取額	4,877	2,171
利息の支払額	△11,451	△15,379
法人所得税の支払額	△5,345	△78,554
営業活動による正味キャッシュ・フロー	△455,561	△221,066
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△73,211	△208,268
定期預金の払戻による収入	219,500	-
有形固定資産の取得による支出	△1,366	△49,823
無形資産の取得による支出	-	△4,054
長期前払費用の増加に伴う支出	-	△82,667
差入保証金・敷金の増加による支出	△435	△24
貸付金の回収による収入	3,332	3,393
投資活動による正味キャッシュ・フロー	147,818	△341,445
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額	△5,165	149,140
長期借入金の返済による支出	△8,342	△3,099
長期借入による収入	74,144	197,056
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,058	6,397,291
新株予約権の発行による収入	-	25,160
連結の範囲の変更を伴わない非支配持分の取得による支出	△72,755	△162,900
財務活動による正味キャッシュ・フロー	△11,060	6,602,648
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70,501	△18,246
現金及び現金同等物の増減額	△389,304	6,021,890
現金及び現金同等物の期首残高	3,022,720	2,599,131
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,633,415	8,621,022

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、創薬及び製造販売事業会社を営んでおり、国内においては当社が、海外においては連結子会社が管理しております。したがって、当社グループは、研究開発・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「米国」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、創薬事業や受託研究などを行っております。

上記のように決定された報告セグメントにおける主要セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	会社名	主要製品
日本	株式会社ジーエヌアイグループ	試薬
中国	北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI-EPS (HONG KONG) HOLDINGS LIMITED、GNI-EPS Pharmaceuticals, Inc.、上海ジェノミクステクノロジー有限公司	アイスーリュイ、その他医薬品など
米国	GNI USA, Inc.	(注)

(注) 米国において、株式の保有を行っております。

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。各報告セグメントの会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

前第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結
	日本	中国	米国	合計		
売上収益						
(1) 外部顧客への売上収益	7,343	536,899	-	544,242	-	544,242
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	-	7,833	-	7,833	△7,833	-
計	7,343	544,733	-	552,076	△7,833	544,242
セグメント損失(△)	△156,499	△54,845	△18,485	△229,831	877	△228,953
					金融収益	10,380
					金融費用	△311,201
					持分法による投資損失	△40,452
					税引前四半期利益(△損失)	△570,227

(注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。また、セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。

3 セグメント損失は、要約四半期連結損益計算書の営業損失を用いております。

当第2四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結
	日本	中国	米国	合計		
売上収益						
(1) 外部顧客への売上収益	17,412	694,485	-	711,897	-	711,897
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	-	76,970	-	76,970	△76,970	-
計	17,412	771,455	-	788,868	△76,970	711,897
セグメント利益(△損失)	△187,144	168	20,822	△166,154	21,804	△144,349
					金融収益	17,573
					金融費用	△16,489
					持分法による投資損失	△33,905
					税引前四半期利益(△損失)	△177,170

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。
 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。また、セグメント利益(△損失)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。
 3 セグメント利益(△損失)は、要約四半期連結損益計算書の営業損失を用いております。

(重要な後発事象)

(1) 会社の買収

当社は、2017年4月18日に100%子会社であるGNI USA, Inc.を通じて、Berkeley Advanced Biomaterials, Inc. (BAB) が子会社として設立した後に、その資産、営業等の全てを譲渡する会社、Berkeley Advanced Biomaterials LLC (BAB LLC) の持分の70%を取得して、当社の連結子会社化することについて、BABと覚書を締結したことを公表しておりましたが、2017年7月14日付けの取締役会(書面)において、当初予定通り、BAB LLCの持分の70%(議決権所有割合の70%)、700,000個(議決権の個数700,000個)を取得することを決議し、BAB LLCの持分譲渡契約書を同月15日(アメリカ現地時間)付けで締結いたしました。その後、同月31日付けで持分の取得が完了したことにより、子会社化しております。

1. 持分取得の目的

BAB LLCの買収により、生体材料の開発及び販売事業を当社の事業ポートフォリオに加えることにより、経営の多角化を図ることができます。さらに、BAB LLCから見込まれる中国国外からの安定的な収益及びキャッシュ・フローにより、財務基盤の安定と、事業の持続的成長及び企業価値向上を図ることが可能となります。加えて、今後、BAB LLCの製品群を有望市場である日本及び中国において展開することや医薬品と生体材料の融合による新たな製品開発を行うことによる新規事業分野への展開も可能となります。BAB LLCの買収後、当社は、世界最大の医療市場である米国と成長著しい医療市場である中国で、収益性の高い同規模の医療関連事業を展開することができます。これにより、当社の創業以来の事業戦略である、中国市場からの好機を捉えて他の主要市場への事業展開を実現することができます。さらに、当社が、今後日本市場においても製品を販売する機会を得ることができます。

2. 持分取得の相手先の名称

- ① 名称 Berkeley Advanced Biomaterials LLC
 ② 主な事業内容 生体材料の開発・製造・販売
 ③ 規模(2017年7月末日現在)
 資本金 83,619千USドル
 売上高 設立直後であるため売上はございません。
 ④ 所在地 米国カリフォルニア州パークレー市

3. 持分取得の時期

2017年7月31日

4. 取得する持分数、取得対価及び取得後の持分比率

- ① 取得持分数 700,000個
 - ② 取得対価 58,533千USドル
 - ③ 取得後の持分比率 70%
5. 取得資金の調達
自己資金により調達。

要約四半期連結財務諸表の承認日までに会計処理が完了していないため、取得した資産および引き受けた負債の公正価値は開示しておりません。

(2) 新株予約権の行使による増資

2017年7月18日をもって、行使価額修正条項及び行使許可条項付第40回新株予約権（第三者割当て）の権利行使がすべて行われ、行使額面総額の払込みが完了し、新株を発行しております。7月1日から7月18日までの当該新株予約権の権利行使概要は次のとおりであります。

- 1. 行使した新株予約権の個数 4,082個
- 2. 未行使の新株予約権の個数 0個
- 3. 行使価額総額 2,368,008千円
- 4. 発行した株式の株式数 4,082,000株
- 5. 増加した資本金 1,186,571千円
- 6. 増加した資本準備金 1,186,571千円

これにより、2017年8月10日現在の普通株式の発行済株式数は、134,413,831株、資本金は10,247,439千円、資本準備金は10,207,439千円となりました。